

玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	大腿骨近位部骨折術後患者に対する骨折リエゾンサービスによるエルデカルシトール処方への導入の有効性と安全性
当院の研究責任者（所属）	小林 俊介（玉川病院 薬剤科）
他の研究機関および各施設の研究責任者	安 武夫（明治薬科大学）
本研究の目的	骨折リエゾンサービス（FLS）は、骨が脆く骨折の危険性がある患者さまに対して、骨粗鬆症の治療開始率および治療継続率を上げるとともに、リハビリテーションの視点から転倒を予防し、新たな骨折を防ぎ、骨折の連鎖を絶つことを使命とする医療チームです。大腿骨近位部骨折術後患者さまに対する FLS による骨粗鬆症治療薬エルデカルシトール（活性型ビタミン D3 製剤：腸からのカルシウムの吸収を上げるお薬）の導入の有効性と安全性を検証する。研究アウトカムは、骨折治療入院中の骨粗鬆症治療薬の選択と処方率、また、骨折入院時をベースラインとして、骨折から 6 か月後、1 年後の骨粗鬆症治療薬の治療継続率、骨密度、再骨折率とする。
医学並びに社会への貢献度の予測について	本研究結果を学会および論文で公表することにより、大腿骨近位部骨折術後患者さまに対して FLS としてエルデカルシトール処方をクリニカルパスへ導入することの有効性と安全性を示すことができる。大腿骨近位部骨折術後患者さまに対する骨粗鬆症治療薬選択の一助になると思われる。
調査データの該当期間	2021 年 4 月 ～ 2024 年 3 月
研究の方法（対象となる方）	当院において上記の期間に FLS が介入した患者さまのうち、骨折から 6 か月後および 1 年後に追跡可能な患者さま。
研究の方法（使用する情報）	本研究では、以下の診療録情報を用います。 性別、年齢、閉経の有無、身長、体重、喫煙・飲酒歴、併存疾患、骨折既往、FRAX スコア、骨密度、YAM 値、T スコア、血液検査値、骨代謝マーカー、使用薬剤（ステロイド、骨粗鬆症治療薬 等）、骨粗鬆症治療薬の選択・継続・中止理由、FLS 介入特記事例など。骨折から 6 か月後、1 年後の骨粗鬆症治療薬の継続の実態、骨密度、再骨折など。
試料/情報の他機関への提供	当院の電子カルテのデータを匿名化し、共同研究先の明治薬科大学に

	調査データを提供します。明治薬科大学は、該当データを統計学的に解析します。
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会発表や論文での公表を予定していますが、その際も対象患者さまを特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：03-3700-1151 担当者：薬剤科 小林 俊介
備考	